

宝ホールディングス株式会社 会社説明会

2019年11月
取締役 森 圭助

2

本日の内容

1. 宝グループの概要
2. 国内事業について
3. 海外事業について
4. 株主還元について

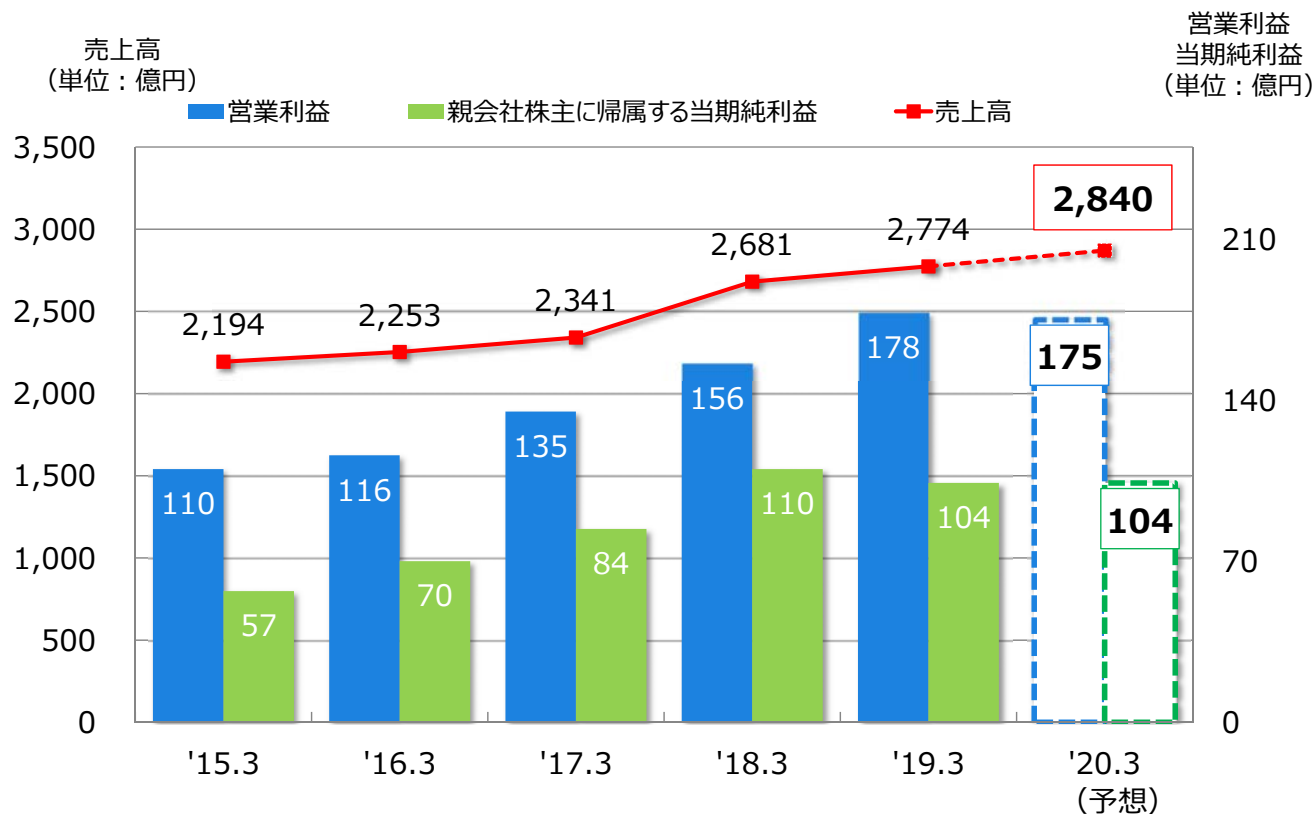
本日の内容

1. 宝グループの概要
2. 国内事業について
3. 海外事業について
4. 株主還元について

宝グループの概要

- 社名： 宝ホールディングス株式会社
- 設立： 1925（大正14）年9月6日
- 上場市場： 東証一部（証券コード: 2531）
- 本店所在地： 京都市下京区四条通烏丸東入
- 取締役社長： 木村 睦
- 資本金： 13,226百万円
- 従業員： 4,493名（グループ連結／2019年3月末現在）
- 連結子会社： 58社（国内:11社、海外:47社／2019年3月末現在）

◆ 売上高・営業利益・当期純利益の推移



宝グループの構成

宝ホールディングス株式会社

宝酒造
国内事業

焼酎は、日本の宝。
次の100年へ、その伝統を継承し続けていきます。

よろこびの清酒
松竹梅

宝酒造インターナショナルグループ
海外事業

Sho Chiku Bai
松竹梅

SUSHI NORI

タカラバイオグループ
バイオ事業

その他グループ会社

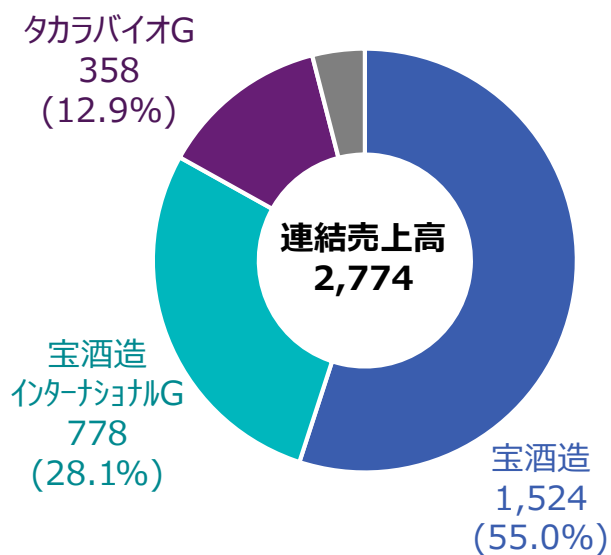
2002年 持株会社化 寶酒造→宝ホールディングスへ商号変更
宝酒造、タカラバイオを設立

2004年 タカラバイオ 東証マザーズへ上場 → 2016年 東証一部へ市場変更

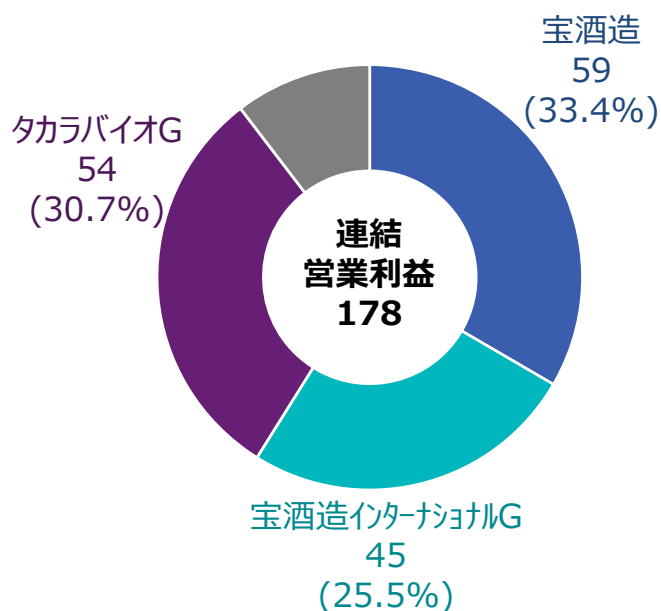
2017年 宝酒造インターナショナルを設立

(2019年3月期 / 金額単位 : 億円)

売上構成



利益構成

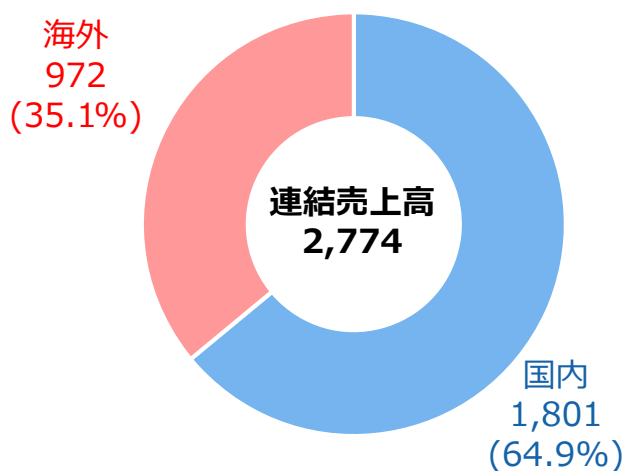


海外比率

(2019年3月期)

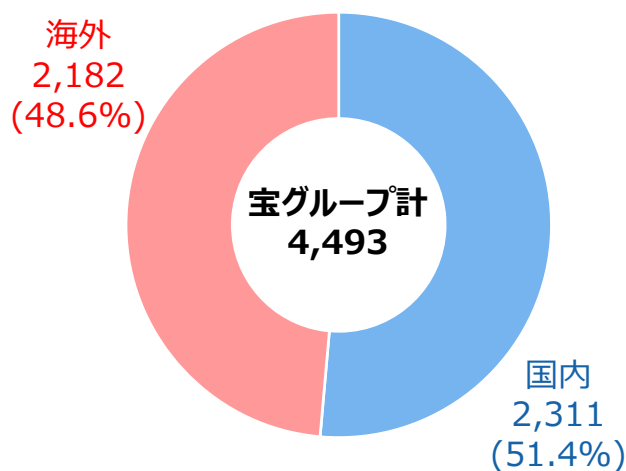
海外売上高比率

(億円)



海外従業員比率

(人)



本日の内容

1. 宝グループの概要
2. 国内事業について
3. 海外事業について
4. 株主還元について

国内事業 ～ 宝酒造

10

◆ 宝酒造の商品ラインアップ



焼酎

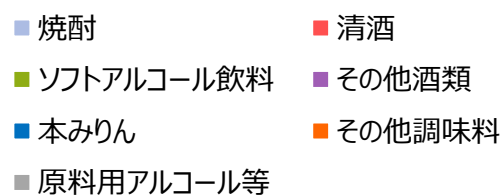
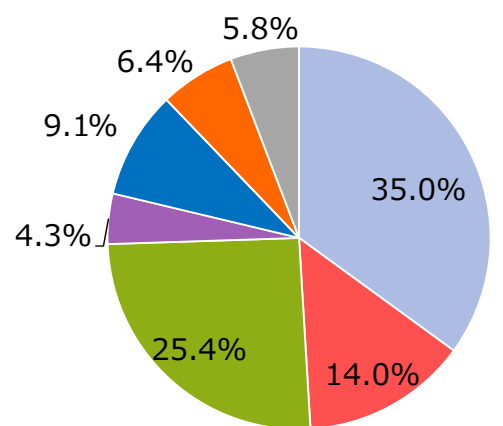
清酒



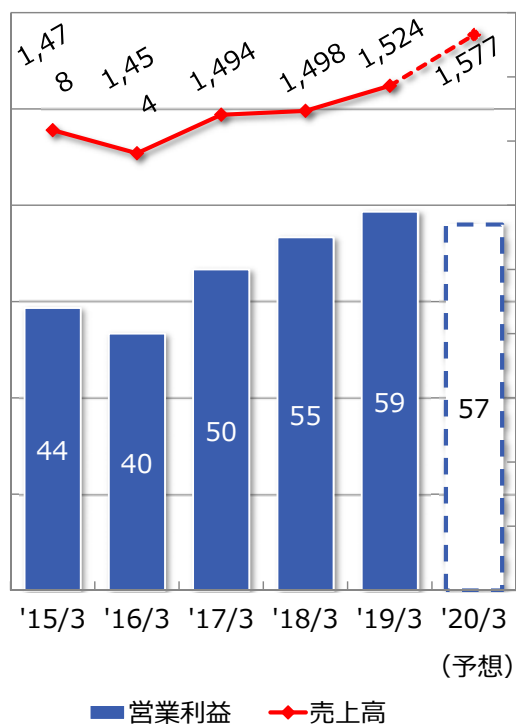
ソフトアルコール飲料

本みりん

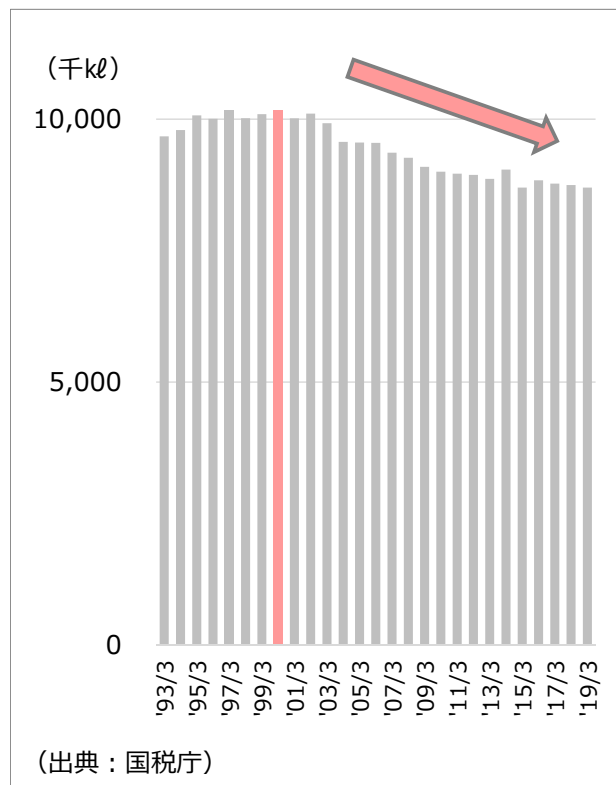
◆ カテゴリー別売上構成比（2019年3月期）



◆ 宝酒造の業績推移（億円）

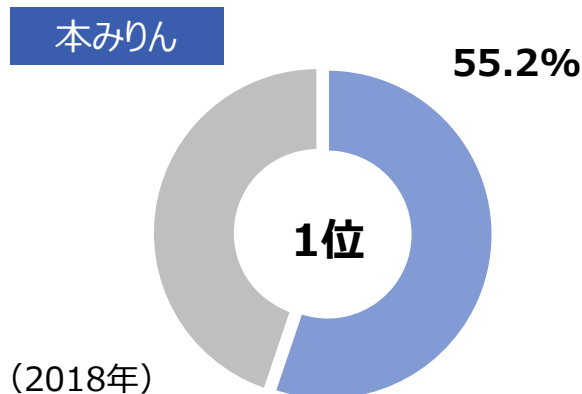
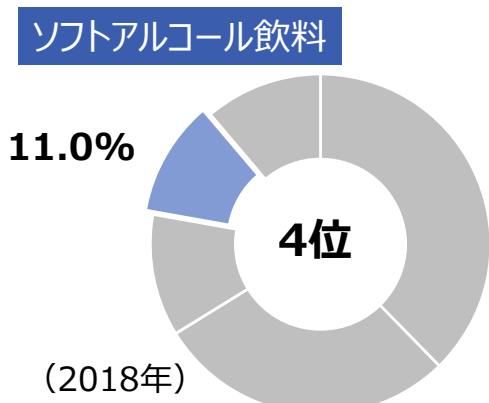
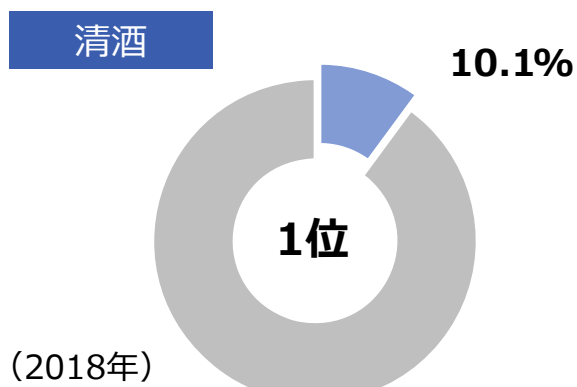
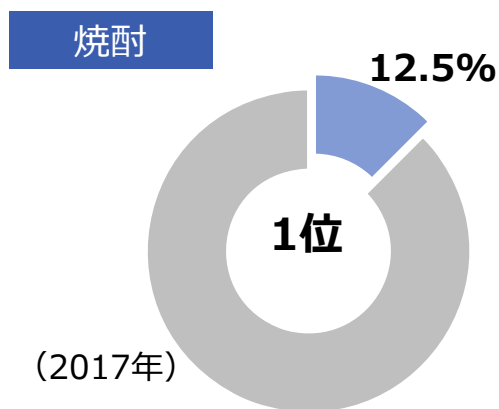


(参考) 酒類課税移出数量の推移



※2018年3月期より事業セグメントを変更しており、2016年3月期以前の数値は参考値です。

「和酒」の各カテゴリーで高いマーケットシェア



<データ出所> 焼酎・清酒：日刊経済通信公表値より当社推計、ソフトアルコール飲料：醸造産業新聞社、本みりん：当社推計

各カテゴリーに複数の強いブランド

焼酎

宝焼酎



宝焼酎「純」



こだわりの
レモンサワー用
〈宝焼酎〉



全量芋焼酎
「一刻者」
(いっこもん)



本格焼酎
「よかいち」



清酒

松竹梅



松竹梅「天」



松竹梅
「豪快」



松竹梅白壁蔵「澪」
スパークリング清酒



各カテゴリーに複数の強いブランド

ソフトアルコール飲料

タカラcanチューハイ



タカラ
「焼酎ハイボール」



寶「極上レモンサワー」



寶CRAFT



寶「極上抹茶ハイ」



調味料

タカラ本みりん



料理のための清酒



料理のためのワイン



- ◆ 技術で差異化された商品開発と商品ラインアップの拡充により、清酒やソフトアルコール飲料を中心に各カテゴリーの売上高を拡大する。
- ◆ 国内の酒類・調味料市場で**和酒No.1メーカー**としてのポジションをさらに盤石なものとする。

本日の内容

1. 宝グループの概要
2. 国内事業について
3. 海外事業について
4. 株主還元について

海外酒類事業

日本からの輸出および海外での現地生産により、清酒「松竹梅」を世界各地で提供

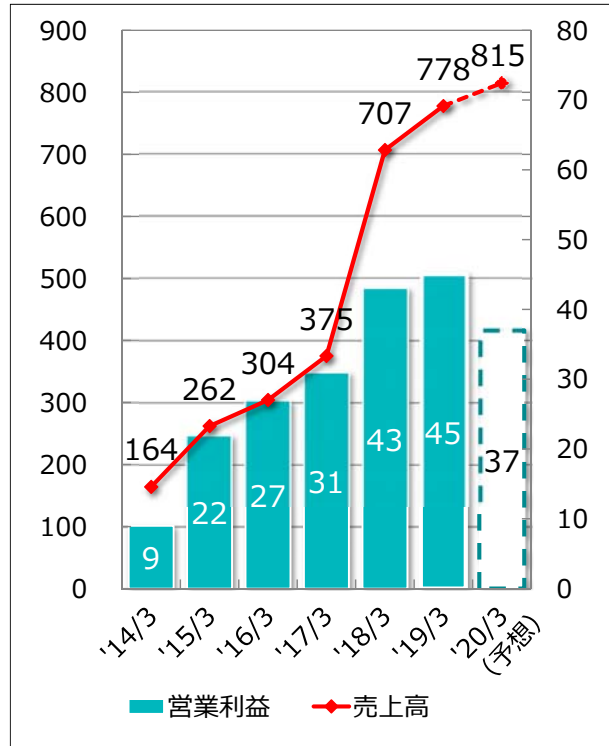


海外日本食材卸事業

コメや寿司ネタなどの日本食材や清酒、調味料を日本食レストラン、小売店などに供給



◆ 業績推移（億円）

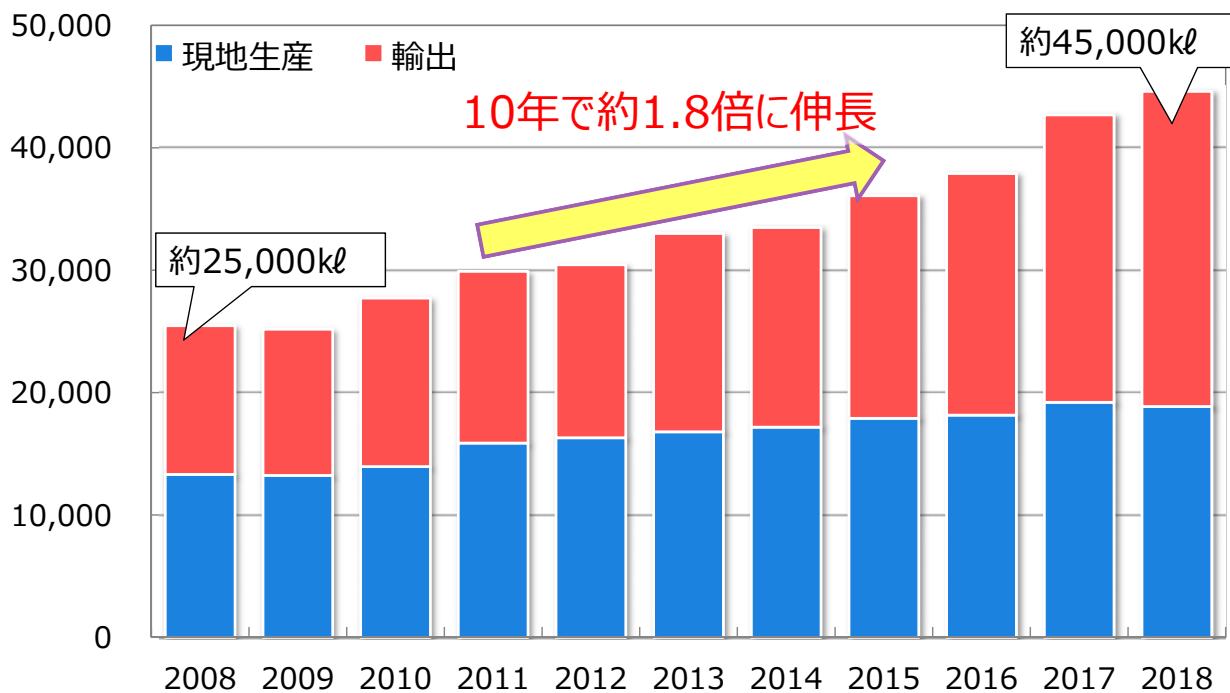


※2018年3月期より事業セグメントを変更しており、2016年3月期以前の数値は参考値です。

海外事業のあゆみ

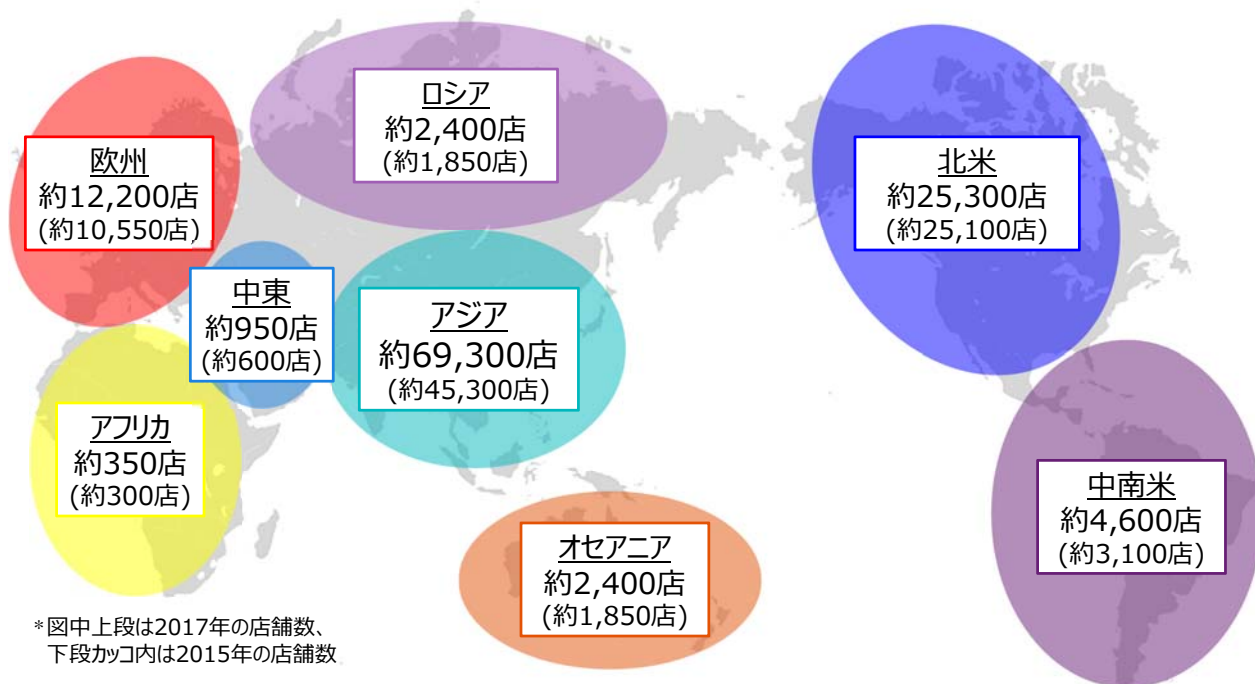
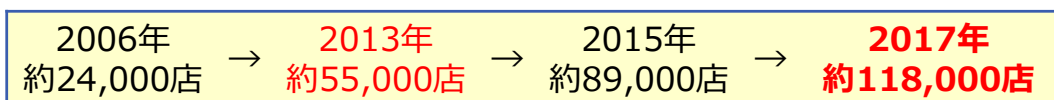
1951年 (昭和26年)	北米向けに清酒「松竹梅」の輸出を開始。	海外酒類事業の育成
1983年 (昭和58年)	北米に米国宝酒造を設立、清酒「松竹梅」の現地製造・販売を開始。	
1986年 (昭和61年)	英国スコットランドにトマーチン社を設立。 現地メーカーの資産を取得し、スコッチウイスキーの製造を開始。	
1991年 (平成3年)	北米のバーボンウイスキーメーカー エイジ・インターナショナル社に資本参加。 (→その後、株式の追加取得により子会社化)	
1995年 (平成7年)	中国北京市に宝酒造食品有限公司を設立。	
2010年 (平成22年)	フランスの日本食材卸会社 フーデックス社の株式を取得し、連結子会社化。 海外日本食材卸事業に参入。	海外日本食材卸事業の拡大
2013年 (平成25年)	英国の日本食材卸会社 タザキフーズ社を連結子会社化。	
2014年 (平成26年)	スペインの日本食材卸会社 コミンポート社を連結子会社化。	
2016年 (平成28年)	ポルトガルの日本食材卸会社 ケタフーズ社を連結子会社化。 北米の日本食材卸会社 ミューチャルトレーディング社を連結子会社化。	
2017年 (平成29年)	オーストラリアの日本食材卸会社 ニッポンフード社を連結子会社化。 宝酒造の海外事業を分社し、宝酒造インターナショナル株式会社を設立。	

(単位：kℓ)



<データ出所> 輸出：財務省貿易統計
現地生産：醸造産業新聞社（清酒大手4社の現地生産量合計）

事業環境② 急拡大する日本食レストラン店舗数

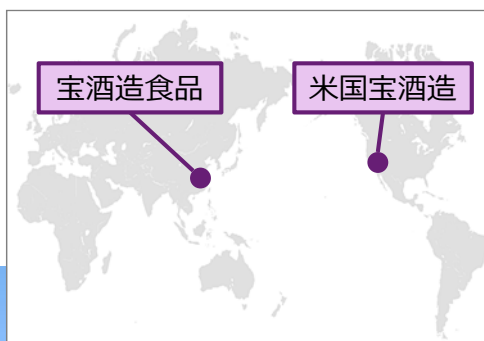


* 図中上段は2017年の店舗数、
下段カッコ内は2015年の店舗数

<データ出所> 農林水産省

現地生産の“地の利”

北米・中国で生産し、
世界各国に流通



米国宝酒造タンクヤード



米国宝酒造外観



米国宝酒造の商品ラインアップ

宝酒造の“技術と品揃え”

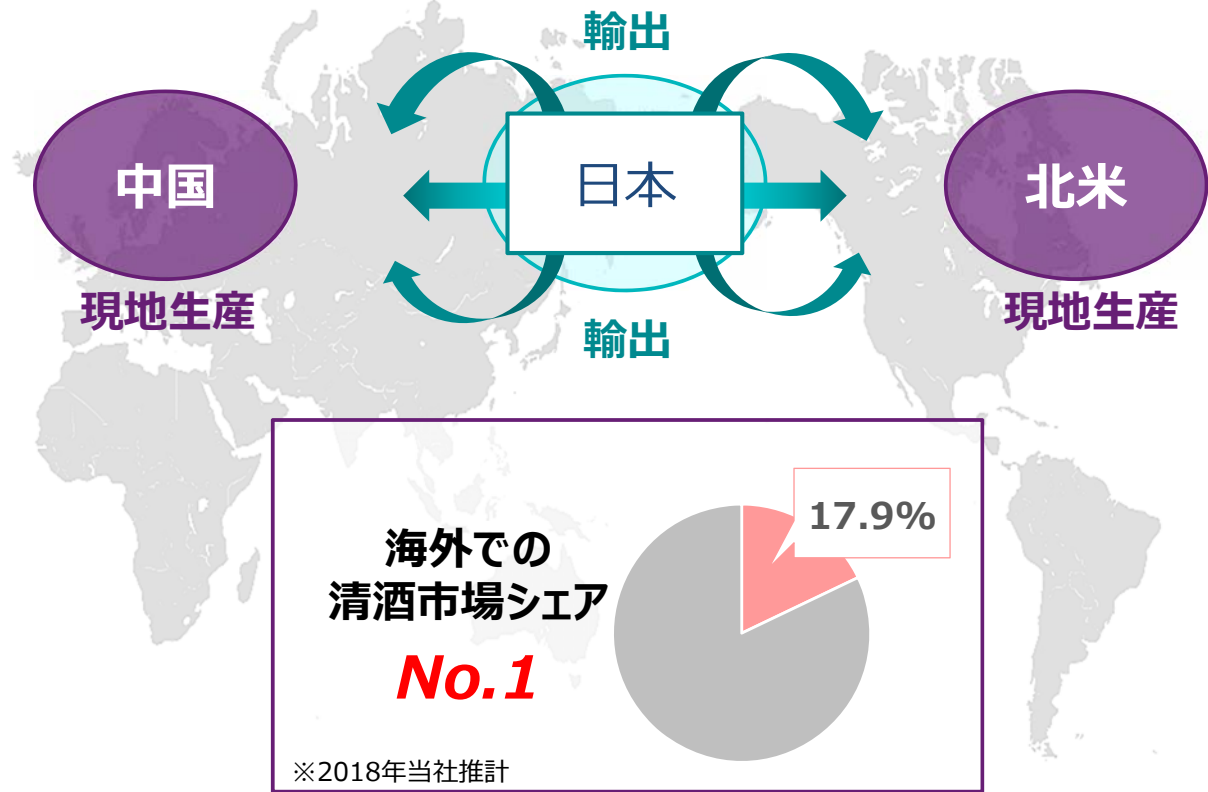
国内の人気商品、
海外専用商品の開発・輸出



スパークリング清酒「漣」



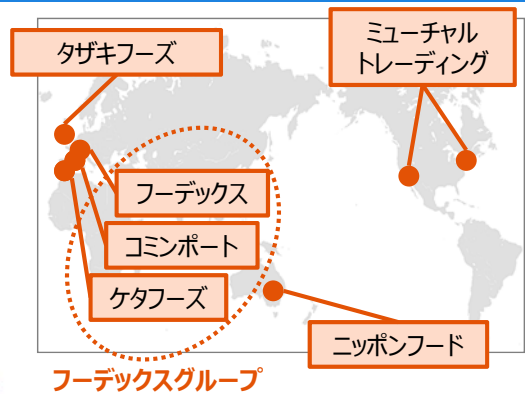
松竹梅「京都伏水仕立て」(海外専用)



成長戦略② 日本食材卸ネットワークの拡大

欧・米・豪に広がるネットワーク

日本食の食材や周辺商材を世界中に提供



調達



現地の日本食材卸会社

販売

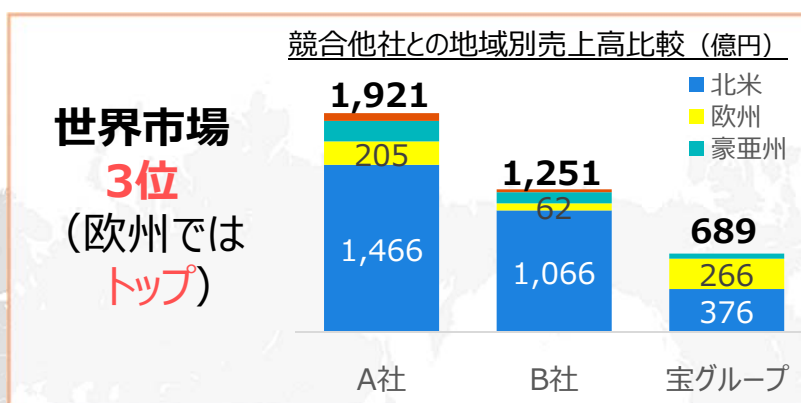
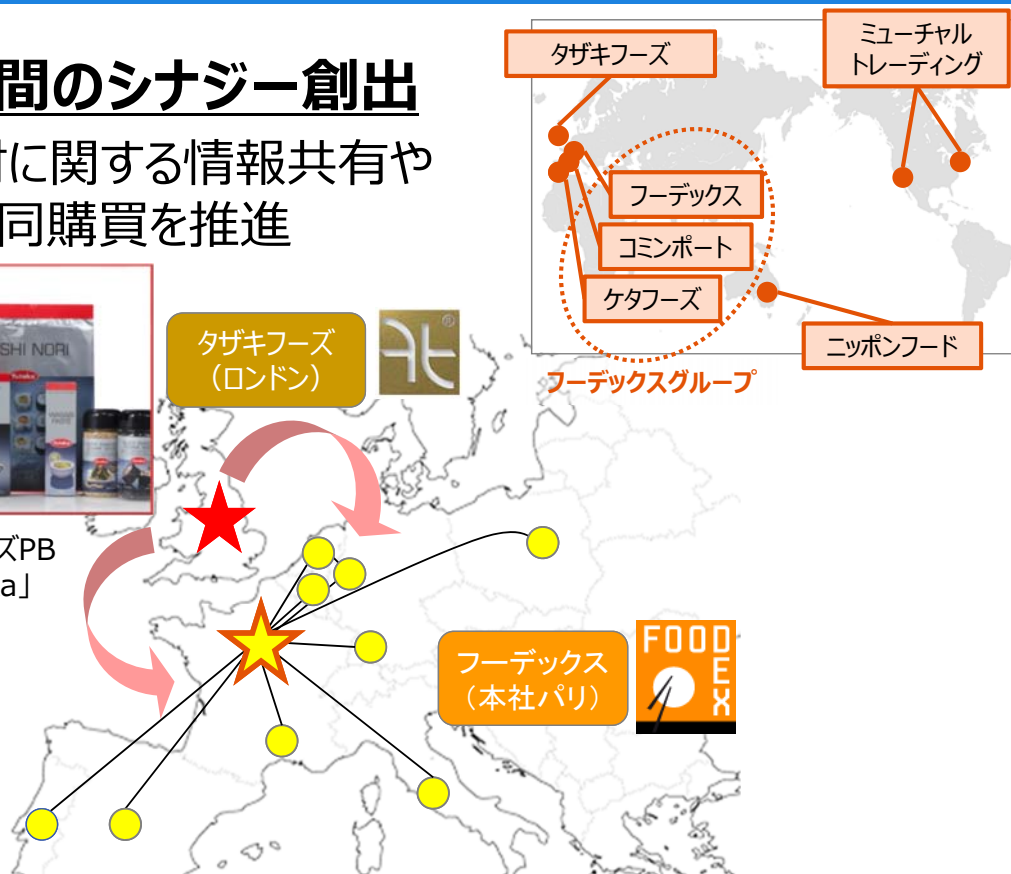


卸会社間のシナジー創出

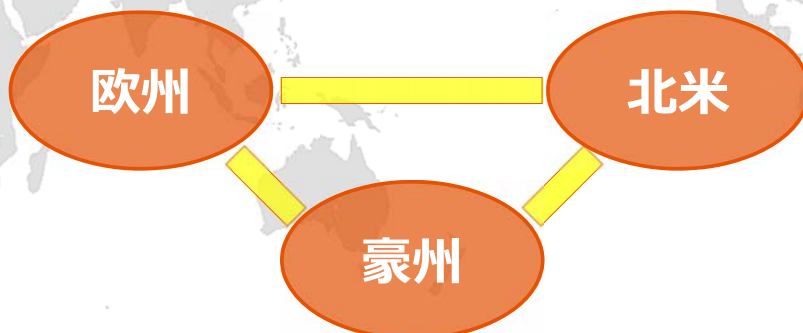
人気商材に関する情報共有や
共同購買を推進



タザキフーズPB
「Yutaka」



欧・米・豪のネットワーク + シナジー創出



※A社・宝グループは2019年3月期、B社は2018年12月期公表値より一部推計

<米国宝酒造> 清酒工場内に資料館「SAKE MUSEUM」を併設し、清酒文化の展示や試飲の場を提供。



<タザキフーズ> 自社ブランド「Yutaka」を中心に、英国各地での展示会等で積極的な情報発信を展開。



<ミューチャルトレーディング> 日本食展示会を30年以上にわたり開催するほか、スシスクール等で人材を育成。



- ◆ 海外清酒市場における圧倒的シェアNo.1の実現と日本食材卸網の拡充による事業規模の飛躍的な拡大を図る。
- ◆ 世界の和酒・和食市場におけるリーディングカンパニーに向けて地歩を固める。

国内事業

和酒No.1メーカーのブランド価値

×

海外事業

海外清酒市場No.1のポジション
+
世界に広がる日本食材卸ネットワーク

||

世界の和酒・和食市場における
リーディングカンパニーへ

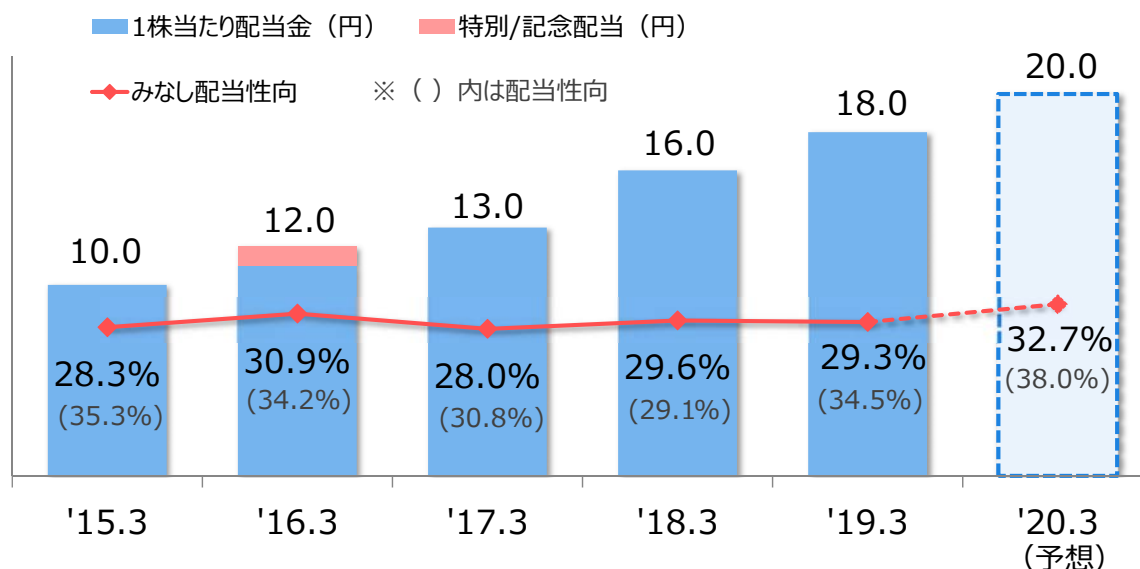
本日の内容

1. 宝グループの概要
2. 国内事業について
3. 海外事業について
4. 株主還元について

◆ 株主還元方針（宝グループ中期経営計画2019）

- 連結営業利益の水準に応じて増配する
- みなし配当性向*30%を目安とした配当

$$*みなし配当性向 = \frac{\text{配当総額}}{\text{連結営業利益} \times (1 - \text{法定実効税率})} \approx 30\%$$



株主優待制度について

◆ 株主優待制度

- 対象：毎年3月31日現在の株主名簿に記録された、当社株式1単元（100株）以上を保有されている株主様
- 発送時期：8月下旬～9月下旬

■ 酒類または調味料詰め合わせ

1,000株以上 → 3,000円相当の当社グループ商品等



100株以上 → 1,000円相当の当社グループ商品等



■ 社会貢献活動への寄付

公的信託「タカラハーモニストファンド」

または

日本赤十字社 への寄付

1,000株以上

→ 優待品に代えて3,000円を寄付

100株以上

→ 優待品に代えて1,000円を寄付

※商品は2019年3月期の実施例

ご清聴ありがとうございました。

将来見通しに関する注意事項

この資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

<お問合せ先>

宝ホールディングス株式会社
I R 部

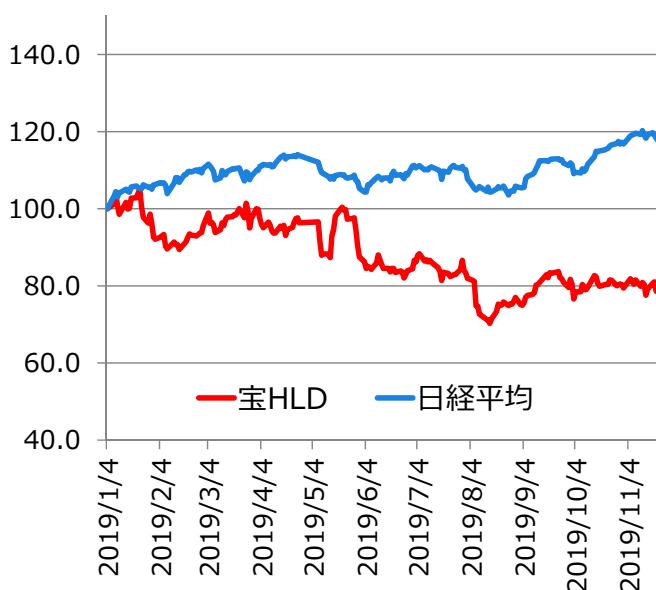
E-Mail ir@takara.co.jp

TEL 075-241-5124

(参考) 株価の推移と株主構成

■ 宝ホールディングスおよび日経平均の株価推移

> 2019年1月4日の株価を100とした場合の指数



> 2019年9月末 株主構成 (株数ベース)

